

平成21年 課題文作成コンペ

(1) 課題文タイトル

「ビジネスホテルとフィットネスクラブからなる複合施設」
コンセプト ~仕事帰りにちょっとフィットネス~

(2) 設計主旨

この施設は、昨今の健康志向に伴い、サラリーマンや、OLの方達が、仕事帰りに気軽にフィットネスを楽しめる施設として計画した。また、初心者にも利用しやすいように、体力測定室を設け、体づくりのサポートができるとともに、プロショップを設け、道具選びのアドバイスも出来るよう計画した。敷地北側には道路を挟んで駅があるため、敷地北西側にポケットパークを設け、地域の憩いの場として提供した。

(3) 今回のコンペについての感想

とにかく楽しかったです。前年度の国語力から今年度前半戦の国語力と、経験してきましたが国語力がこんなに楽しいと感じたのは初めてでした。今年度は角番生ですが、合格することができたなら、合格後も参加できたらと思います。

さて今回のコンペ作品を作成するにあたって私が考えたことをまとめたいと思います。今年度の試験は時間が1時間延長されたため、作図量を増やすのか？計画を難しくするのか？私としては、試験自体は少し簡単にし、使い勝手をより理解した人を合格にしたいと思いました。単に試験勉強で培った実力ではなく、普段の建築士としての気質みたいなものを図りたい。実力があるのに試験が苦手な人に有利に働く試験にしたいと考えました。

- ・自分が建築主であったらどういう施設にしたいか。
- ・ターゲットは仕事帰りのサラリーマン（独身・単身）
- ・フィットネス初心者が利用しやすい施設
- ・公共施設ではなく、商業施設である。
- ・管理部門はコンパクトに。
- ・採算がとれる施設
- ・ビジネスホテルは部屋数をより多く
- ・屋上緑化・太陽光発電設備のスペース確保
- ・大空間（プール室）の処理
- ・変スパンの対応
- ・管理動線
- ・使いやすい施設というよりは要素がぎゅっとつまった施設
- ・南北に長い敷地

今回感じたことですが、A2用紙1枚にまとめるという試験の性質上、今回の課題は向いていないのではないかなと思いました。建築主であればビジネスホテル部門の部屋数をより多くとりたいと考えます。しかし、そうするとA2用紙におさまらない自体になりそうでした。ボリュームとしてはビジネスホテルはおまけみたいなものですが、あまり部屋数を減らすと現実性に乏しい課題になってしまいます。今回の私の課題は自分がしたいことが多すぎて、おさまらない。配置したい部屋が配置できない。など作図しながら図面のレイアウトで悩みました。結果的には、基準階タイプであったため、断面図の基準階を省略可ということにして何とかレイアウトしましたが、この試験は現実性も重視している観点から、採算性を重視されるような施設は向かないと思います。